

## 会 員 名 簿

榎	本	誠
大	場	恒
加	藤	薫
金	谷	良
百	々	佑利
野	間	一
廣	田	律
復	本	一

## 編 集 後 記

\*第五号をお届けする。継続は力、ということに感慨もひとしおである。

\*本号より代表を野間一正先生にお願いすることとなったが、その野間先生より早速に玉稿を御寄稿いただき、本誌を飾ることができた。

\*大学が学問の府であることは、今もって揺ぎない事実である。そこにおいて、各人の研究成果を広く世間に発信し得るような本誌のごとき存在は不可欠であり、その意義は少なくない。そのことを強調して、六号にむかいたい。

\*本号は、若手、ベテラン多くの会員の方々の力作が揃い、いつになく充実した号となった。編集子としては、うれしいことである。

\*本誌は、芸文に関心のある経営学部的全構成員に開放されている。会員となることを希望される諸賢は、事務局担当の復本一郎までお申し込みいただきたい。

\*次の次の第七号では、統一テーマによる特集をもくろんでいる。会員諸賢は、御意見をお寄せいただきたい。